

Q. 小学校高学年の教科担任制の導入は A. 全体的な状況を注視しながら検討する



青山克己 議員

Q

小学校（5年・6年）の教科担任制は、成績の向上、中学校への移行もスムーズになる。問題も多々あると思うが、今後こうした課題について、導入の方向で研究・検討してゆく考えはあるか。

A

原則、小学校は学級担任制、中学校は教科担任制であるが、小学校において、専門性の高い教師がいる場合は一部の教科について、年間を通じて特定の学年の全学級を指導している場合がある。

文部科学省が毎年実施している調査では、一部の教科で教科担任制を実施している学校が増加していると報告されている。

小学校における教科担

任制については、幾つかの先行研究が報告されており、その成果として、生徒指導面での効果が上がる、教師の授業づくりに関する負担が軽減できるなどのメリットが明らかにされている。

その一方で、弾力的な授業運営が難しい、児童との人間関係の構築に時間を要するなどのデメリットも指摘されている。このような状況から、今後、全体的な状況を注視しながら検討していく。



ハイ！ せんせい！